

2020年4月全体朝礼挨拶

2020年4月1日(水) 施設長 宮下正弘

皆さん、お早うございます。今日から令和2年の新年度に入ります。さわやかな朝日の中で迎えられることを嬉しく思っています。

さて、今年度の人事は大きな動きはありませんが、ご存じのように、保坂茂副施設長が昨日をもって退職されました。5年前私も一緒に当苑に赴任し、看護介護部長として、また副施設長として、皆さんの中に入って職員と一緒に汗を流してくれました。「山盛苑が生き生きしてきた」と評価される多くは保坂さんに力に負うところが大きいと、改めてここで感謝申し上げます。特に現在2年半にわたって“身体拘束ゼロ”を達成していますが、これも保坂部長の力のたまものです。去年のこの場で申し上げましたが、秋田の農聖と言われる石川理紀之助の有名な言葉に「寝ていて人を動かすことなかれ」があります。平たく言えば、上に立つ人間は口先で人を指図するのではなく、率先して動くこと。そうすれば人は必ずついてくる、というものです。保坂さんは将にそれを地で行く人でした。この言葉は、ここにお集まりの皆さんもぜひ心の裡に仕舞っておいてください。



今年度の目標として「山盛苑の情報をどんどん出してゆく」を掲げたいと思います。まずはホームページの刷新を事務部で取り組んでいただきたい。当苑への入苑の話が出ると、ご家族は必ずホームページを見ます。それが魅力に乏しければ、当苑の印象も芳しくないでしょう。日常の活動をタイムリーに載せてゆく、そんなホームページにしたいのです。私もそこに定期的に文章を発出してゆくつもりです。

新型コロナウイルス感染が広がってきています。当苑では面会は冬季インフルエンザに準じた形で、強い制限は行っておりません。秋田県では昨日の段階では罹患者は6人で、いずれも他県からの持ち込みで、県内に蔓延している状況ではないからです。しかし全国の発生状況から、国は何等かの非常事態宣言を近く打ち出すと思われまます。その時点で、県などの行政の指示を踏まえながら、新しい対応を考えます。兎に角持ち込まない、それに尽きまます。

入所者の皆さんに目を移しますと、ここ5年以上なかった100歳を迎える方が、今年度中には5月の鈴木スワさんを先頭に10月川村フヨさん、11月鈴木勇吉さん、鈴木新子さんと4名おります。是非とも無事100歳を迎えさせてあげましょう。また在宅復帰の促進もみんなで取り組んでまいりましょう。

コロナのために例年と違い不安定な新年度の出発となりましたが、心を新たにして、日々の業務に励んでいただくことをお願いいたしまして、新年度初めのあいさつといたします。